

**令和4年3月23日（水）**

**全国知事会 新型コロナウイルス緊急対策本部（第35回）における丸山知事  
発言（発言要旨）**

**1. 新たな変異株等に備えた感染拡大防止策について**

（オミクロン株の亜種である）Ba.2系統による再拡大が懸念されるという状況は、（世の中の）共通した認識かと思う。（一般的に、これまでの）Ba.1系統に比べて、（患者が感染してから2次感染を起こすまでの時間を示す）世代時間が15%短く、（1人の感染者による2次感染者数である）実効再生産数は26%高いという数字も示されている。

Ba.1系統を中心とした第6波においても、いかに重症化率が低くとも、感染者数が多いとなると、実際に、確保病床のうち軽症中等症病床の使用率が100%を超えた地域が現実には生じたということを踏まえると、Ba.2系統が同じように感染拡大した場合には、より感染者が多く、医療ひっ迫、医療のキャパシティをオーバーする度合いは、より深刻になるということは容易に想像できる。

そういったことに備えるために、今、準備をする必要があるが、まん延防止等重点措置については、飲食中心ということでもいいのかどうかということが論点だと思うし、徳島県の飯泉知事からもお話があったとおり、一定の感染の交わる場になっている学校や保育園等に対する人事抑制の措置なしにBa.2系統に対応できるのかどうかということを、専門家を含めて政府において、十分に検討していただく必要があるのではないかと考えている。

**2. 事業者支援策について**

「事業復活支援金」について、提言（案）では「期間の延長」といった記載になっているが、1～3月のこれだけの感染拡大により、（この制度の）支給対象になった事業者がたくさんいるという中で、（制度の内容を踏まえると）期間を延長したとしても、（同一の業者に）追加給付はないと考えられる。

従って、再度同じ制度を、この4月から、例えば4～8の5ヶ月を対象に、再度予算措置をしていただいた上で立ち上げていただくということが、今後の感染再拡大に備える措置として適切であると思うので、この点、期間延長というよりは、再度実施をしていただくといった形の記載が適当ではないかと思う。

加えて、この年度末の送別会、歓迎会の時期が、飲食店にとっては、ほぼ閑古鳥が鳴くという状況になっていることは全国共通なので、感染状況に応じて実施が可能なGo to イートの再開のための予算措置を実施していただく必要があるのではないかと考えている。